

日本繊維機械学会 第26回秋季セミナー 「考えるセンイ～持続可能な推進力～」

日本繊維機械学会では、産学官の繊維に関わる方々を対象に、最新情報の収集ならびに意見交換の場となることを目的として、毎年11月に秋季セミナーを開催しております。第26回となる今回は来る11月14日(木)、15日(金)の両日、大阪大学中之島センター(大阪市北区中之島4-3-53)で開催いたします。

今回は「考えるセンイ～持続可能な推進力～」をメインテーマにしました。「衣食足りて礼節を知る」という、ことわざにもあるように古くから繊維製品は我々にとって最も身近な工業製品であり、また様々な形で欲求を満たしてくれるアイテムでもあります。しかし、近年そのセンイを取り巻く環境が大きく変わろうとしています。AI、IoTやビッグデータによる繊維産業への変革や、センイ製品が与える地球環境負荷への問題からリサイクル、天然材料の見直しの動きが活発となっています。このようなことから、人々と地球に対し礼節を持って接する活動を持続可能な推進力として捉え、企業としての行動を考える必要があるのではないのでしょうか。

特別講演では、AIの社会・ビジネス導入の可能性、課題について国立情報学研究所様のご講演や、天然クモ糸に学び、分子設計から創出された新規な構造タンパク質材料としての人工クモ糸について理化学研究所様のご講演を企画いたしました。

テーマ別講演では、これらのホットなテーマについて、関係分野の第一人者によるご講演を企画しました。また、本セミナーの役割には繊維技術交流をより積極的に進めることがあります。その役割に資するために、全国の公的試験機関の研究開発成果発表について、機器展示・ポスター展示を行います。今回は大学のポスター展示も行います。本セミナーが、今後のものづくりの方向性を考え、議論する場になれば幸いです。みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

期 日 2019年11月14日(木)、15日(金)

会 場 大阪大学中之島センター(大阪市北区中之島4-3-53)

<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/others/map/>

内 容 予定

第1日目【11月14日(木)】午後

10階 佐治敬三メモリアルホール	
13:00	開会の挨拶 第26回秋季セミナー実行委員長、倉敷紡績(株) 森島英暢
13:05	挨拶 (一社)日本繊維機械学会 会長、京都工芸繊維大学 教授 鋤柄佐千子
13:10~14:10	特別講演(1) 「AI活用の現状と今後の可能性」 国立情報学研究所 教授、人工知能学会 前会長 山田誠二 現在第3次ブームにある人工知能AIの現状を解説し、AIの定義、歴史、第3次AIブームの特徴である機械学習、ディープラーニングの基礎、AIの有効性そしてAIの限界について解説する。また、AIの社会・ビジネス導入の可能性、課題について触れ、AIが人間の労働に与える影響、AI時代に必要とされる人材について述べる。そして、今後のAI研究の方向性について、主に人間とAIの協調の観点から考えを述べる。
14:20~15:20	繊維関連公設試ならびに大学研究室によるショートプレゼンテーション
15:30~16:30	特別講演(2) 「天然クモ糸に学ぶ人工繊維の分子設計」 (国研)理化学研究所 環境資源科学研究センター バイオ高分子研究チーム 上級研究員 土屋康佑 クモ糸は鋼鉄に匹敵する引張強度やタフネスを示す構造タンパク質材料として注目を集めている。本講演では、天然のクモ糸について優れた力学特性を生み出すのに必要となるタンパク質の構造や、特異的な高次構造を形成するための紡糸機構を詳細に調べ、得られた知見を基にどのように人工クモ糸を創り出すかについて、我々が取り組んでいる戦略について概説する。
16:35~18:00	繊維関連公設試ならびに大学研究室によるポスターセッション 交流会(ポスター会場でポスター交流と同時開催)

第2日目【11月15日(金)】午前

	A会場 (7階 講義室 702)	B会場 (7階 講義室 703)
	繊維機械の最新動向～糸づくりから染色まで	ヒトに寄り添う快適ウエア
10:00 }	<p>「紡糸巻取機と仮燃機の製品動向」 TMT マシナリー(株) 取締役 技術本部長 橋本欣三</p> <p>これまで合繊設備の発展の歴史は、主に生産性の向上であった。設備の機械的な性能限界を乗り越えることにより、設備の多糸条化、多錘化を実現してきた。しかし合繊製造業の成熟化と競争激化により、市場の要求は生産性だけでなく、省エネ、省人化、現場環境の改善にも拡大している。当社製品を基に、その状況について紹介します。</p>	<p>日本繊維機械学会技術賞受賞講演 「スポーツブラの機能設計」 (株)アシックス スポーツ工学研究所 アパレル・エキップメント機能研究部 アパレル機能開発チーム 瀧井靖歩</p> <p>スポーツ用ブラジャー（スポーツブラ）は様々なスポーツシーンで着用されます。当社では、主要な動作ごとのバスト部の挙動を分析し、各スポーツシーンに見合ったスポーツブラの機能設計をしています。本講演では、スポーツブラの機能設計のためのバスト部の挙動分析とヨガ等の低強度運動用スポーツブラの開発について紹介します。</p>
10:25 }	<p>「Uster Quality Expert による原料から糸までの品質管理について」 ウスターテクノロジーズ(株) 技術サービスグループ グループ長 繁樹 隆</p> <p>最新型の糸むら試験機 Uster Tester 6 (UT6) に標準装備の Uster Quality Expert (UQX) は、試験機及び各工程からのデータを自動的に収集し、紡績糸製造の品質管理システムとして活用していただけます。弊社製品の紹介と UQX の概要を説明します。</p>	
11:00 }	<p>「ITMA2019 における自動ワインダーの最新動向」 村田機械(株) 繊維機械事業部 技術部 AW チーム 部長 中川 隆</p> <p>今年6月にスペインのバルセロナで開催された ITMA2019 における当社の最新自動ワインダー及び他メーカーが出展した最新自動ワインダーについて紹介します。</p>	<p>日本繊維機械学会技術賞受賞講演 「暑熱環境下での作業リスク管理システムの開発」 大阪大学 大学院基礎工学研究科 機能創成専攻 教授 清野 健</p> <p>衣服には、怪我を防ぎ、環境への適応を助けるなどの機能があり、私たちの安全と命を守る上で重要な役割があります。近年、衣服機能の追求において、繊維技術の発展だけでなく、ウェアラブルセンサ、IoT 技術の応用が、衣服の可能性を広げています。本講演では、暑熱労働環境の安全を見守るスマート衣服を紹介するとともに、衣服の新たな可能性を展望したいと思います。</p>
11:25 }	<p>「ITMA2019 に見る織機の最新動向」 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 参与 伴場秀樹</p> <p>6月にバルセロナ（スペイン）にて ITMA2019 が開催されました。日本、ヨーロッパの主たる織機メーカーが最新機種、最新技術を出展し、アピールしていました。各織機メーカーのエアジェット、ウォータージェット、レピアルームの出展状況から最新動向を一織機メーカーの視点で述べます。</p>	
12:00 }	<p>「繊維業界における横編機の最新動向」 株島精機製作所 トータルデザインセンター係長 谷河 豪</p> <p>最新ホールガーメント横編機では、ファッション業界はもとより、機能素材を用いてスポーツ・メディカル業界へと広がりを見せています。またインバースプレーティング機構を搭載した最新成型機は、ニットを多種多様な業種へ提案できる可能性のある機械です。本講演ではバルセロナで開催された ITMA2019 でも好評であった当社横編機の最新機構を紹介します。</p>	<p>「衣料から衣療へ QOL 向上に貢献する製品による新市場創出への取組み」 グンゼ(株) QOL 研究所 企画調査室 室長 上島 進</p> <p>グンゼは、自社の持つ技術を活用して、QOL 向上に貢献できる製品を「メディキュア」というブランドで展開しています。医療現場の声を製品化するプロセスや、テーマを共有する企業との連携（アライアンス）により、新たな市場の創出を目指しています。この講演ではこれまでの活動をご紹介しますことで、新たなパートナーとのビジネスの可能性も模索できればと考えています。</p>
12:25 }	<p>「テキスタイルインクジェット捺染の最新情報」 コニカミノルタ(株) 産業印刷事業部 テキスタイル事業推進部 販売推進グループ 係長 中井俊博</p> <p>6月に開催された ITMA2019 においても、テキスタイル捺染業界のインクジェットプリント方式への切り替わりのトレンドは顕著になってきております。今回はテキスタイルインクジェット捺染の最新情報の事例等を交えて報告します。</p>	
12:50	昼食 (12:50～13:40)	

第2日目【11月15日(金)】午後

	A会場 (7階 講義室 702)	B会場 (7階 講義室 703)
	つくる責任, つかう責任-SDGs 開発目標に向かって	進化し続ける素材 (仮)
13:40 } 14:30	依頼中	<p>「米の籾殻を原料とした多孔質炭素材料 Triporous™ (トリポラス™) の開発と応用」 ソニー(株) 知的財産センター 知的財産インキュベーション部 田畑誠一郎</p> <p>世界で年間1億トン以上排出されている米の籾殻を原料とした、新しい多孔質カーボン素材である Triporous (トリポラス) は、特徴的な細孔構造と吸着特性を有し、水浄化や空気浄化だけでなく、衣類やトイレタリー製品にも応用可能です。本講演では Triporous の基礎特性と様々な応用について報告します。</p>
14:40 } 15:30	<p>「都市水循環系におけるマイクロプラスチック汚染の現況」 京都大学 大学院地球環境学堂 准教授 田中周平</p> <p>水辺ではレジ袋やペットボトル等のプラスチックゴミを見かけますが、これらの環境運命は明らかになっていません。マイクロプラスチックはどこで発生し、どのような大きさで、どこに存在しているのか。都市水循環系での挙動に着目した内容を報告します。</p>	<p>「AOXフリー防縮加工「ライフファイバー EFT」」 株式会社トーア紡コーポレーション エンジニアリング本部 本部長 水森吉紀</p> <p>トーア紡、ソトー、森保染色の3社共同開発による EFT (Eco Friendly Treatment) を紹介します。EFT は、樹脂皮膜によるウールの防縮加工技術です。常温短時間での加工が可能であり、ウールが本来持つ撥水性や吸湿性なども維持します。この EFT の最大の特徴は、従来防縮加工で問題とされている AOX (Absorbable Organic Halogens) の排出がない環境に配慮した新加工技術といえます。</p>
15:40 } 16:30	<p>「オンワードの環境経営-衣料品の循環システムの構築-」 株式会社オンワードホールディングス 執行役員環境経営担当 清家彦三郎</p> <p>アパレル業界が抱える販売後の残商品は近年益々増加傾向にあり、業績への圧迫はもとより、社会問題化しています。一方で企業の社会的責任、CSR 活動は事業を推進する上でその重要性が非常に増しています。当社は需要喚起やシェアリング、顧客様とのつながりを意識した独自の「衣料品の循環システム」の構築に取り組んできました。これらの取り組みの紹介や今後の課題をお話しします。</p>	依頼中
閉会の挨拶		

参加費 会員 22,000 円, 非会員 30,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円, 特定会員 (65 歳以上の正会員) 8,000 円 (税別)

申込 「第 26 回秋季セミナー」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加 (参加無料) の有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP の秋季セミナー頁より WEB 申込ができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第26回秋季セミナー 繊維技術交流 繊維関連公設試ならびに大学研究室によるポスター募集

第26回秋季セミナーでは、前回に引き続き繊維技術交流として全国の繊維関連公設試験研究機関や産地の企業の新技術開拓、新製品開発及び技術改善等の研究成果・試作品及びポスターを募集いたします。今回は大学からのポスター（研究紹介、研究室紹介、成果発表等）も募集いたします。公設試験研究機関、産地の中小企業およびコラボレーションによる作品、大学の研究紹介、成果発表等の申込みをお待ちしております。

日時 2019年11月14日(木)

会場 大阪大学中之島センター（大阪市北区中之島4-3-53）

内容

- (1) ショートプレゼンテーション
- (2) 作品およびポスターの前にて参加者と交流

ショートプレゼンテーション

1件約4分のプレゼンを行います。

作品およびポスター発表(交流)

ポスターの前にて参加者と交流

定数 16件（定数になり次第締め切らせて頂きます）

その他 詳細は学会HPをご参照下さい。

企画委員会

委員長	倉敷 哲生（大阪大学）		
副委員長	杉山 研志（TMT マシナリー）	東山 幸央（兵庫県立工業技術センター）	
企画委員	青谷実知代（神戸松蔭女子学院大学）	秋月 健司（東レ）	内丸もと子（COLOUR BRIDGE）
	小川 敦久（クラレ）	奥野 智朗（住江織物）	小野 努（岡山大学）
	梶原 幸治（キヨーワ）	勝間田晋治（ポーケン品質評価機構）	黄 楚（カトーテック）
	齋藤 寿叙（カケンテストセンター）	佐久間 淳（京都工芸繊維大学）	佐藤 克成（奈良女子大学）
	滋野 治雄（帝人）	竹本由美子（武庫川女子大学）	筒井久美子（村田機械）
	中根 幸治（福井大学）	西田 裕紀（関西ファッション連合）	野田 博丈（トヨタ紡織）
	馬場武一郎（日本毛織）	林 久秋（豊田自動織機）	廣澤 覚（京都市産業技術研究所）
	深沢太香子（京都教育大学）	藤井 智成（津田駒工業）	堀場 洋輔（信州大学）
	松原 孝典（産業技術短期大学）	森 洋人（アシックス）	森島 英暢（倉敷紡績）
	安井 章文（東洋紡）	山田 博夫（ユニチカトレーディング）	山田由佳子（大阪教育大学）
アドバイザー	宇治 光洋（ダイセン(繊維ニュース)）	木村 照夫（元京都工芸繊維大学）	武内 俊次（京都工芸繊維大学）
	藤井 明彦（繊維評価技術協議会）	松崎 健（ミズノ）	松下 義弘（京都工芸繊維大学）

講演会「国際繊維機械見本市ITMA2019(バルセロナ) 視察報告」

国際繊維機械見本市 ITMA 2019 が 2019 年 6 月 20 日～26 日の 7 日間、スペインのバルセロナで開催されました。ご高尚の通り ITMA は 4 年に 1 回ヨーロッパで開催される世界最大規模の国際繊維機械見本市です。世界の繊維機械メーカーはこの見本市を目標に技術開発、製品開発を目指しており、この見本市に一齐にその成果が披露され、まさに繊維機械のオリンピックと呼ぶに相応しい技術交流の場です。2015 年に開催されました ITMA 2015 (ミラノ) は、出展社数 1,691 社 (46 カ国)、来場者数は約 12 万人 (147 カ国) でした。

今回は ITMA 2019 に参加された方々を講師として、国際見本市の報告を兼ね、繊維機械の最新動向について解説いただきます。世界の最新動向をつかむ絶好の機会です。関係各位多数のご参加をお待ちしています。

期 日 2019 年 10 月 4 日(金) 9.55～17.25

会 場 大阪科学技術センタービル (大阪市西区靱本町 1-8-4) <http://www.ostec.or.jp/ostec-room/>

共 催 企画委員会、繊維機械研究会

内 容 予定

開会の挨拶 (9.55～10.00)

- 日本繊維機械学会 繊維機械研究会 委員長、金沢大学 教授 喜成年泰
- (1) 全般 (10.00～10.40)
- 日本繊維機械学会 繊維機械研究会 運営委員、京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任准教授 武内俊次
- (2) 合織機械 (10.40～11.20)
- 紡糸巻取関係 TMT マシナリー(株) 技術本部 設計部 紡糸巻取グループ 松井崇倫
- 加工機関係 TMT ソリューションズ(株) カスタマーソリューショングループ
- DTY チームリーダー 山野茂信
- (3) 紡績機械 (11.30～12.10)
- (株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 紡機技術室第 1G 濱口敦司
- (4) 革新精紡機 (12.10～12.30)
- 村田機械(株) 繊維機械事業部 技術部 MS チーム 課長心得 森 秀茂
- (5) 自動ワインダー (12.30～12.50)
- 村田機械(株) 繊維機械事業部 技術部 AW チーム 主任 濱地祐次
- (6) 織機 (13.50～14.30)
- 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 織機第一課 副参事 紺谷英之
- (7) 編機(横編機) (14.30～15.10)
- (株)島精機製作所 トータルデザインセンター 係長 谷口多哉
- (8) 染色加工機械 (15.20～16.00)
- (株)日阪製作所 プロセスエンジニアリング事業本部 設計開発部 設計開発一課 白石健二
- (9) インクジェット捺染機 (16.00～16.40)
- コニカミノルタ(株) 産業印刷事業部 テキスタイル事業推進部 課長 稲田寛樹
- (10) ディスカッション (16.40～17.20)
- 講演を頂きました講師
- (11) 交流会 (17.30～19.00)

定 員 80 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 15,000 円、協賛団体会員 15,000 円、非会員 25,000 円、学生会員 1,000 円、学生非会員 3,000 円 (税別) 繊維機械研究会メンバー無料、交流会別途 5,000 円 (税別)

申 込 ①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、E-mail アドレス)、④会員種別、⑤交流会参加有無を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。
学会ウェブページより申込み可能です。 <https://tmsj-or.jp/sslwww.jp/lecture/>

申込先 日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル 6F
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

繊維リサイクル技術研究会第134回情報交換会 ～SDGsに向けた繊維／プラスチックリサイクルの取り組み～

期 日 2019年9月25日(水) 14.00～17.00

会 場 京都工芸繊維大学 13号館 4F 多目的室 (京都市左京区松ヶ崎御所海道町)

内 容

14.00～14.05 開会挨拶

..... 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫

14.05～14.50 講義「SDGsの“いろは”と繊維産業におけるSDGsの取り組み課題」

..... 日本繊維産業連盟 環境・安全問題委員会 長 保幸

14.55～15.55 話題提供「パンテックによるSDGsへの取り組み(仮)」

..... (株)パンテック 西尾豊樹

16.00～17.00 話題提供「年間流通1000万枚、繊維製品デッドストックを対象としたSDGsへの取り組み」

..... (株)ショーイチ 代表取締役 山本昌一

17.30～19.00 名刺交換会(希望者のみ, 有料)

共 催 京都工芸繊維大学・繊維科学センター, NPO 未利用資源事業化研究会

参加費 繊維リサイクル技術研究会メンバー無料, 共催団体メンバー無料

名刺交換会(交流会) 3,500円

問合せ先 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫

E-mail: tkimura426@gmail.com

企業心理と消費者心理研究会第18回公開講座

企業心理と消費者心理研究会は、下記の要領により第18回公開講座を開催します。参加料は無料、多数のご参加をお待ち申し上げます。今年のテーマは前々回好評であったフェアトレードです。

期 日 2019年10月25日(金) (受付9.15～)

会 場 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス B号館 2F (予定) (神戸市中央区港島 1-1-3)

最寄駅「みなとじま」(ポートライナー)「みなとじま」から徒歩5分:改札を出てまっすぐ高架下を進み、左手のファミリーマートの角を左に曲がる。陸橋を渡り、降りたところが正門。正門から見て、右側の奥がB号館。

内 容

9.30～9.40 開会の挨拶

..... 司会 神戸学院大学 辻 幸恵

9.40～10.50 第1部 講演「フェアトレードの現状と問題点」

..... 神戸学院大学 フェアトレードサークル フェアスマイル外部顧問 高見 徹

11.00～11.50 第2部 ディスカッション

12.00～13.00 ランチミーティング

参加費 無料

その他 講演会場ではフェアトレード商品を展示、販売いたします。

申 込 ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス)を記入の上10月23日までにE-mailにてお申し込み下さい。

申込先・問合せ先 神戸学院大学 経営学部 辻 幸恵

E-mail: yukie213@ba.kobegakuin.ac.jp, 電話: 090-4766-4513

「テキスタイルカレッジ」のご案内

■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成8年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約20年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を一昨年に見直しました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座です。

■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」「布」「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既に実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のために、「テキスタイルカレッジ」をご利用下さい。

「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類		開 講 日	講 座 名
入門		開催済	1. 「2日間で学ぶせんいと布づくり」(2日)
専 門 講 座	糸	開催済	1. 「天然繊維の糸づくり」(1日)
		開催済	2. 「化学繊維の糸づくり」(1日)
		12/10(火)	3. 「合成繊維(実用)」(1日)
	布	11/1(金)	1. 「組物」(0.5日)
		10/31(木)	2. 「織物」(1日)
		10/30(水)	3. 「編物」(1日)
		9/3(火)	4. 「不織布」(1日)
		9/27(金)	5. 「染色加工(基礎)」(1日)
		11/21(木), 22(金)	6. 「染色加工(実務と応用)」(2日)
	製 品	2月予定	1. 「アパレル製品設計の基本」(1日)
11/12(火)		2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として-」(1日)	
11/20(水)		3. 「実習: 感性評価のための布特性」(1日)	
1月予定		4. 「資材用繊維製品」(1日)	
3月予定		5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日)	

テキスタイルカレッジ

「不織布」

不織布の概論，短繊維ならびに長繊維不織布の製法，加工法ならびに物性と用途などについて，系統的にやさしく解説します。

シニアの方には知識の整理のため，若手の方は基礎知識の習得を目的としています。不織布についての体系的な知識を得ようとされている方々の多数の受講をお待ちしています。

期 日 2019年9月3日(火) 9.30~17.40

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4，地下鉄四つ橋線「本町」下車，28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

(1) 不織布概論・短繊維不織布技術－乾式不織布（9.30~10.40）

..... 東レ(株) 不織布技術部 主任部員 小出 現

- ①日本の不織布の歴史について
- ②不織布の分類・製法，使用繊維について
- ③乾式不織布の製法，特許，後加工について
- ④乾式不織布の特徴・物性と用途について

(2) 短繊維不織布技術－湿式不織布（10.50~12.00）

..... 特種東海製紙(株)研究開発センター 市場開発部 部長 服部 景

- ①湿式不織布の歴史，概要について
- ②湿式不織布の製法，特許，使用原料について
- ③湿式不織布の特徴・物性と用途について

(3) ナノファイバー不織布の作製と実用（13.00~14.10）

..... ナノファイバー研究会委員長，大阪成蹊短期大学 山下 義裕

- ①ナノファイバーの歴史と特許について
- ②ナノファイバーの製法について（エレクトロスピンングパルプの微細化など）
- ③ナノファイバーの特徴と用途開発について

(4) 長繊維不織布技術－スパンボンド（14.20~15.30）

..... 東洋紡(株) 不織布拡大戦略部 部長 田中 茂樹

- ①スパンボンドの歴史と概要について
- ②スパンボンドの特許，製法，使用原料について
- ③スパンボンドの特徴・物性と用途について

(5) 長繊維不織布技術－メルトブロー（15.40~16.50）

..... 高知県立紙産業技術センター 素材開発課長 鈴木 慎司

- ①メルトブローの歴史と概要について
- ②メルトブローの特許，製法，使用原料について
- ③メルトブローの特徴・物性と用途について

(6) 不織布の物性測定について（17.00~17.40）

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理

- ①不織布の性質・機能と試験方法について
- ②不織布の製品の評価方法について

協 賛 大阪染色協会，関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員15,000円，協賛学協会員15,000円，非会員23,000円，学生会員3,000円，学生非会員5,000円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ不織布」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX番号，E-mailアドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4，大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail：info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「染色加工（基礎）」

「染色加工（基礎）」講座は、多様なテキスタイル素材に関連する染色加工技術、品質保証などについて実践的な知識を得たいと思っておられる方々を対象に、染色加工技術の基本的な考え方や天然繊維と合成繊維に対する染色加工技術全般について「やさしく、わかりやすく解説する」ことに重きを置いた基礎講座です。講義内容は、染色加工に従事されている方々のみならず、アパレル製品の品質問題で日々悩んでおられる方々、アパレル製品の企画、設計、販売に携わっておられる方々、クリーニング関係の方々にとって「染色加工を考えるにあたっての拠り所となり得る」ものですので、幅広い分野の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2019年9月27日(金) 9.30~17.00

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容

(1) 染色の基礎理論 (9.30~11.00)

…………… 梶山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科 教授 上甲 恭平
赤ちゃんだってエプロンに色々な色の“染み”を付けているように、色素が染まる（染色）現象は“自然に起こる現象”であって難しく考える必要はありません。ただ、単に色を付けることは簡単なことですが、それが商品となるように色を付けるとなると大変難しくさまざまな技術を習得、理解することが必要となります。これらの技術にはそれぞれに理論があるのですが、ここでは、最も基本的な“染まるって現象”について優しく説明します。

(2) 染料概論 (11.15~12.45)

…………… 元住友化学、今田技術士事務所 今田 邦彦
染色される繊維の化学構造や物性に対応して、それぞれの繊維の染色に適した種属の染料が開発され利用されています。ここでは、各種繊維に適した染料種属とその特徴について解説し、それぞれの繊維と染料の特性に応じた最適染色条件の設定についても説明します。

(3) 天然繊維の染色加工（基礎）(13.45~15.15)

…………… 梶山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科 教授 上甲 恭平
天然繊維（セルロース系繊維、タンパク質系繊維）の染色加工技術は、それぞれの繊維が有している固有の繊維構造および特性が強く反映したものとなっています。講義では、まず、それぞれの繊維の染色現象を固有の繊維構造と関連させながらどのように考えられているのかを説明し、続いて、実際に行われている染色加工工程を工程の意味合いを含め、基本的な処理方法および装置等の基礎知識および技術について説明します。

(4) 合成繊維の染色加工（基礎）(15.30~17.00)

…………… 元グンゼ、ユタックス、坂本技術士事務所 坂本 修三
生産比率が高い合成繊維のポリエステル、ナイロン、アクリルを中心に、その他各種合繊の染色加工技術および加工方法を基礎が分かるように解説します。また関連技術の付加価値加工事例と業界動向に触れます。さらに複合素材を扱う染色加工現場の諸課題を検証しながら、複合素材の同浴染色加工の体験事例を紹介します。

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員 15,000円、協賛学協会員 15,000円、非会員 23,000円、学生会員 3,000円、学生非会員 5,000円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ染色加工（基礎）」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691、FAX.06-6443-4694、E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「編物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「編物（ニット）」の専門家を講師としてお迎えし、編物の製造方法や編み構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため編地分析実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および編物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や編物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 2019年10月30日(水) 10.00～17.25

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00～10.40

(1) 編物・編機の基礎

..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 山内宏城

10.40～11.55

(2) 横編機と編地

..... (株)島精機製作所 トータルデザインセンター 西野壽樹

12.55～14.10

(3) 丸編機と編地

..... 元福原精機製作所, 京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任准教授 武内俊次

14.20～15.35

(4) 経編機と編地

..... 日本マイヤー(株) 営業課 課長 三船宏之

15.45～16.25

(5) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響

..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 福田ゆか

16.35～17.25

(6) 編地分析実習

..... (株)島精機製作所 トータルデザインセンター 西野壽樹

..... 日本マイヤー(株) 営業課 課長 三船宏之

..... 元福原精機製作所, 京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任准教授 武内俊次

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円（税別）

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を20%引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ編物」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「織物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「織物」の専門家を講師としてお迎えし、小型の実物織機を用いて織物の製造方法や織り構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため織地分析実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および織物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や織物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 2019年10月31日(木) 10.00～17.00

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00～10.50

(1) 織物・織機の基礎

..... 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 東山幸央

11.00～11.40

(2) 織物組織と特性

..... 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 東山幸央

11.40～12.30

(3) 整経機

..... 津田駒工業(株) 準備機械技術部 技術準備機課 課長 藤井智成

13.30～14.50

(4) 織機

..... (株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 織機技術室 濱口真崇

15.00～15.50

(4) 織地不良と管理

..... 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 参与 伴場秀樹

16.00～17.00

(5) 織物作成実習 兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 東山幸央

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員15,000円, 協賛学協会員15,000円, 非会員23,000円, 学生会員3,000円, 学生非会員5,000円 (税別)

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を20%引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ織物」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「組物」

テキスタイルは、用途・目的に応じて、「織る」、「組む」、「編む」などの方法で製造されており、これらの「組物」、「織物」、「編物」は衣料用のみならず、産業用途としても多く用いられている昨今です。そしてそれぞれの製造機械やテキスタイル構造の特徴を捉えることで、さらにその用途を広げる可能性が秘められています。

この度、その1つである「組物」の専門家を講師としてお迎えし、組物の製造方法や組み構造・特徴など基礎的な内容から応用分野にわたってわかりやすく解説していただきます。また、理解を深めるため組紐製作実習も行います。

アパレルやテクニカルテキスタイル、および組物の製造工程に携わっておられる方々のみならず、初学者や組物に興味をお持ちの方まで、幅広い分野の方々を対象としていますので、多数のご参加をお待ちしております。

期 日 2019年11月1日(金) 13.00~17.00

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

13.00~13.30

(1) 組紐・組物の概要

組紐・組物の概要, 組紐の歴史

..... 組紐・組物学会 会員 西 幾代, 丸山文乃

13.30~14.10

(2) 伝統工芸品としての組紐

組紐の種類(組紐の構造)と特性, 手組技術

..... 組紐・組物学会 会員 西 幾代, 丸山文乃

14.20~15.20

(3) 組物作製実習 組紐・組物学会 会員 西 幾代, 丸山文乃

..... 村田機械(株) 研究開発本部 技術開発センター 魚住忠司

15.30~16.10

(4) 産業用途の組物

産業用途の組紐種類, 技術・製品・研究動向

..... 谷口製紐(株) 代表取締役社長 谷口道夫

16.10~17.00

(5) FRP用の組物

FRP用途の組紐技術・製品・研究動向

..... 村田機械(株) 研究開発本部 技術開発センター 魚住忠司

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員10,000円, 協賛学協会員10,000円, 非会員18,000円, 学生会員3,000円, 学生非会員5,000円(税別)

複数受講割引 テキスタイルカレッジ「組物」「織物」「編物」の中から、複数講座をお申込みいただくと、各講座の参加費を20%引き致します。

申 込 「テキスタイルカレッジ組物」と明記し、①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別を記入の上, FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「繊維製品の感覚性能－アパレル製品を中心として－」

人の感覚という個人差が大きく漠然とした捉えどころのないもののように思うかもしれませんが、アパレル製品の着心地の良さには、見た目や触れた時の布の風合い・暑さ寒さのような温熱的快適性・動きやすさがかかわっており、これらはそれぞれ視覚や皮膚感覚である触知覚・温覚冷覚・圧覚と対応しています。これらの感覚を主観評価や生理量から捉え、布の材料特性と関連付けることで、着心地を客観的に数値で捉えることが可能です。

テキスタイルカレッジ「繊維製品の感覚性能－アパレル製品を中心として－」の講座では、このような繊維製品の感覚性能を評価するための手法の基礎について学びます。

まず着心地の数値化についての基本的な手法、そして人間の「触知覚」や「視覚」による布の風合い評価、アパレル製品の「衛生機能」および「運動機能」の側面からの着心地評価という観点から、その計測・評価方法を、事例を交えて基礎から解説します。

感覚性能は繊維製品だけでなく、生活の中で人が触れて用いられるものすべてに関わる性能です。繊維に関わる勉強をしている学生、アパレル製品に関連する業務を担当されている方々だけでなく、人の感覚や感性といったことに興味をお持ちの方など多くの方々のご参加をお待ちしております。

また、実際に計測してみたいという方は、テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」(11月20日開催)の受講も併せてご検討ください。

期 日 2019年11月12日(火) 10.00～17.00

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

(1) アパレル製品の「着心地」を数値化するには (10.00～11.30)

..... 信州大学 繊維学部 特任教授 西松 豊典

アパレル製品の感性品質(心地)を的確に捉えるために、主観および客観評価が必要になってきています。そこで、人間の視覚と触知覚機能、視覚や触知覚で「着心地」を評価するときに用いる官能検査方法、着心地に関連する生地の物理特性の計測・評価方法、着心地を評価しているときのヒトの生理的機能量の計測・評価方法、主観評価と客観評価結果との対応付けについて、研究成果を示しながら解説します。

(2) 風合い評価－触覚－ (12.30～13.30)

..... 元金沢大学教授, カトーテック(株)技術顧問 松平 光男

布の風合い(触感)は、明治に入って英国から紳士服が日本に導入されて以来、テーラーや消費者から重要視され、風合いの良いスーツを着ることが消費者の夢であった。川端、丹羽教授らは、風合い判断が微小な荷重レベルでの初期力学特性に基づいていることを見だし、弊社と共同でKESシステムの設計、開発に成功した。日本繊維機械学会内に風合い計量と規格化研究委員会(略称HESC)を組織し、基本風合い、総合風合いを定義し、KESシステムで得られる基本力学パラメータから布の風合い客観評価法の開発に成功した。今回は、その概略を解説します。

(3) 風合い評価－視覚－ (13.40～14.40)

..... 信州大学 繊維学部 准教授 金井 博幸

視覚によって評価される布の風合い(視覚的風合い)は、最終テキスタイル製品の付加価値を向上させる要因の一つです。これまで、黒色織物の外観に関する研究については多くの報告がありますが、主観的評価法や物理的特性の計量法の標準化には至っていません。ここでは織物の視覚的風合いを主観的に評価する方法について紹介し、物理的性質との対応について検討した事例を紹介します。

(4) アパレル製品の衛生機能的着心地の評価 (14.50～15.50)

..... 京都教育大学 教育学部 准教授 深沢太香子

一日の生活の中で、衣服を身に着けていない時間はどのくらいでしょうか? 私達は、入浴時以外は殆どいつも衣服を身に纏っています。ですから、着用する衣服は、安全でかつ心地よいものであることが重要です。ここでは、衣服を気候適応のツールととらえ、衣服の温熱的な心地よさに関わる生理指標とその評価法、そして、心理的評価法について解説します。

(5) スポーツウェアの運動機能的着心地の評価～衣服圧計測からのアプローチ～ (16.00～17.00)

..(株)アシックス スポーツ工学研究所 アパレル・エクイップメント機能研究部 主任研究員 小澤 明裕
運動機能的着心地には、動きやすさや締め付け感が大きく影響します。動きやすさを阻害しない、また快適な締め付け感を、どのように測定し評価を行うかについて衣服圧計測からのアプローチを紹介し、併せて、それらの手法がスポーツウェア開発にどのように活かされているかの具体的な事例も紹介します。

共催 日本繊維機械学会信越支部、繊維学会感覚と計測委員会

協賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定員 30名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円、協賛学協会員 15,000円、非会員 23,000円、学生会員 3,000円、学生非会員 5,000円(税別)

申込 テキスタイルカレッジ繊維製品の感覚性能と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、④会員種別を記入の上、お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

消費税の扱いについて

本会が発行する請求書等の消費税の扱いは次のとおりです。

1. 消費税対象外(不課税)となるもの
 - ・年会費(正会員費、学生会員費、賛助会員費、維持会員費)
 - ・年次大会参加費(本会会員のみ)
2. 消費税の対象となるもの
上記1.以外
3. 年度について
本会の事業・会計年度: 4月1日～翌年3月31日
4. 税率について
 - ・行事参加費(講演会、テキスタイルカレッジ、セミナー等)
2019年9月30日までの開催行事の参加費等: 8%適用
2019年10月1日以降の開催行事の参加費等: 10%適用
 - ・各研究会の会費(運営分担金等)
2019年4月から2019年9月分の会費: 8%適用
2019年10月から2020年3月分の会費: 10%適用

問合せ先 一般社団法人日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル6階
TEL: 06-6443-4691, FAX: 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「実習：感性評価のための布特性」

着心地を始めとする感性評価についての概説、布の触感に関わる風合いの客観評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-FB1～4 (auto system ではありません) を用いて布の力学的特性 (引張、せん断、曲げ、圧縮特性) と表面特性を、KES-F7 サーモラボを用いて熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) を測定します。

布の物理特性について学びたい、KES を所持しているの測定原理を復習したいというだけでなく、基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感に関わる生活材料 (たとえば不織布、皮革類、紙、フィルム、その他硬い材料など) に応用したい、さまざまな条件設定について知りたいなど、これまでの事例を踏まえ、触感研究への応用に関するさまざまなご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感性評価に興味をお持ちの方を対象に、布の触感の客観評価の実際を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。関係各位多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2019 年 11 月 20 日 (水)

会 場 神戸大学国際人間科学部 鶴甲第 2 キャンパス (神戸市灘区鶴甲 3-11)

JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後、各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大人間発達環境学研究科前 下車。

講 義 13.00～14.30

- (1) 着心地に関わる評価の概説、布の力学特性・表面特性・熱水分移動特性の測定と風合いの客観評価
 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

実 習 14.30～16.30

- (2) 1) 布の曲げ特性、せん断特性、引張特性の測定
 2) 布の圧縮特性、表面特性の測定
 3) 布の熱移動特性 (最大熱流束 q_{max} 、熱コンダクタンス、熱損失) の測定
 3 班に分かれ、ローテーションで実習を行います。
 カトーテック(株)ならびに井上真理

まとめ 16.30～17.30

- (3) エクセルファイルを用いた風合い計算の解説および質疑応答 (ノートパソコンをご持参ください)
 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上真理

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 15 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 10,000 円、非会員 18,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円 (税別)

申 込 テキスタイルカレッジ「実習：感性評価のための布特性」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル
 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「染色加工（実務と応用）」

テキスタイルカレッジ「染色加工（基礎）」では、染色の基本的な考え方から天然繊維と合成繊維での染色加工技術に関する基本技術について原理を含め「やさしく、わかりやすく」解説いたしました。「染色加工（実務と応用）」では、繊維業界に長年携わってこられた方々に基礎講座を踏まえ繊維別に染色加工の実際の対応や応用技術に関して詳細に解説していただき、さらに高機能加工などの要素技術・省エネ・環境関連技術や安全性と法規制など現在の繊維業界が抱えている課題を「よりわかりやすく」解説していただきます。講義内容は、最近の技術の進歩や新たな染色加工技術へと展開についても触れていただきます。実務で染色加工に携わっておられる方々のみならず、アパレル製品関連をはじめコストダウンや環境関連技術分野をも含めた幅広い分野の方々を対象としていますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2019年11月21日(木)、22日(金)

会 場 大阪科学技術センタービル（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容

1日目【11月21日(木)】

(1) 染色助剤および機能加工剤（10.00～12.00）

.....元日華化学，金崎技術士事務所 金崎 英夫
世界的に環境対策・安全性が重視される中で、加工剤薬剤の安全性に対する関心が高まっている。又、欧米を中心に展開されているグローバル認証や機能性の国際規格をクリアするためには、加工処方や加工薬剤の見直しが必要となってくる。そこで今回は環境・安全性・健康・快適性等に関して話題となっている機能性加工剤の業界動向について紹介します。

(2) セルロース系繊維の染色加工（13.00～15.00）

.....(株)東洋紡カンキョーテクノ 代表取締役社長 橋本 嘉顕
基礎講座を受け、それぞれの工程を深掘しつつ、「生産現場を意識した、留意点や問題解決の方向性を」と及び「繊維製品の調達を意識した、各工程の意義や品質問題を実現場のサンプルを通して」解説します。

(3) タンパク質系繊維の染色加工（15.15～17.15）

.....元日本毛織，元日本羊毛産業協会 長澤 則夫
ウールとシルクは代表的なタンパク質系繊維です。外観や手触りが優れているなど繊維としての価値が高く高価という特長があります。繊維構造は非常に複雑でデリケート、そして多くの機能を併せ持っています。そのような特質を理解した上で染色や機能加工を行う必要があります。このようなタンパク質系繊維の染色・仕上加工の工程での位置付けと実際の注意点を解説します。

2日目【11月22日(木)】

(4) 合成繊維の染色加工（10.00～12.00）

.....元帝人，日本繊維技術センター 理事長 嶋田幸二郎
合成繊維及び各種複合繊維使いの織編物の機能性付与加工は、日本のテキスタイル加工の重要な要素技術で進化している。単一の繊維素材の知識だけでなく複合素材に対応する知識が必要となっている。長年繊維メーカーで実際の染色加工会社において技術開発および経営管理に従事した経験をもとに、最近発表されている多くの機能性付与技術を含め、染色および機能仕上加工の応用を重点にして今後の役に立てるようにサンプルや動画などを利用してわかりやすく解説します。

(5) 捺染加工及び環境技術（13.00～15.00）

.....元日本染色協会，森本技術士事務所 森本 國宏
1) 人々の生活を豊かにする着衣に、自然界の美しさや抽象的なデザインを配することは、人類の文化として古くから種々の技法が考案され進化を遂げてきた。その技法には一定のルールがあり、かつその応用技術も併せて発展を遂げている。また、ここ数十年間で急激に進化を遂げているデジタルプリントについても基本原理と応用についての理解が必要である。本講座では、この両者の捺染（テキスタイルプリント）についての特徴を理解して頂くように解説します。
2) 染色加工産業は、各種薬剤、水資源、エネルギー多消費産業であり、これらは環境へのインパクトが大きい。ただし、個々の事業所の規模が中小規模であるがために社会的には大きな問題となっていない。しかし、中

小といえども数が集まると近隣地域への環境問題に発展する。染色加工産業の環境インパクトについて日本国内のみならず途上国での実態とその解決法について実務（標準法）と応用技術について事例をあげて理解を深めて頂くように解説します。

(6) 機能性繊維の品質評価 (15.15~17.15)

.....元 繊維評価技術協議会, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一

我が国が得意とする各種機能性繊維の分類例, 機能性試験方法の JIS, ISO 標準化提案状況を紹介したあと「清潔」「安全・安心」「快適性」及び「イージーケア性」カテゴリー別の代表的な機能性について, その付与メカニズムと評価方法について解説します。

協賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定員 30名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 25,000円, 協賛学協会員 25,000円, 非会員 33,000円, 学生会員 5,000円, 学生非会員 7,000円 (税別)

申込 「テキスタイルカレッジ染色加工 (実務と応用)」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

染色加工研究委員会

委員長	上甲 恭平 (椋山女学園大学)		
運営委員	伊藤 博 (イトービーイーオフィス)	今田 邦彦 (今田技術士事務所)	上坂 貴宏 (京都市産業技術研究所)
	高橋 正志 (日阪製作所)	榎本 雅穂 (京都女子大学)	岡田 倫子 (滋賀県東部工業技術センター)
	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	越智 清一 (元繊維評価技術協議会)	改森 道信 (改森技術士事務所)
	金崎 英夫 (金崎技術士事務所)	桑原 里実 (和洋女子大学)	嶋田幸二郎 (嶋田技術士事務所)
	解野 誠司 (和歌山県工業技術センター)	長澤 則夫 (元日本羊毛産業協会)	橋本 嘉顕 (東洋紡カンキョーテクノ)
	廣垣 和正 (福井大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)	森本 國宏 (森本技術士事務所)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	吉川 雅敏 (繊維評価技術協議会)	

テキスタイルカレッジ

「合成繊維（実用）」

合成繊維についての、合成・重合・紡糸（スーパー繊維を含む）、糸加工、製布、特化素材について、基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました。これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不十分で、広い範囲の知識が求められます。本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています。講義にはできるだけ現物（サンプル）を提示するようにしています。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 2019年12月10日(火) 10.00～17.30

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00～11.00

(1) 化合繊維概論

種々の化学繊維の特性などを説明し、産業論にも少し触れます。

..... 山崎技術士事務所 代表、京都工芸繊維大学 非常勤講師 山崎 義一

11.10～12.40

(2) 合成繊維のモノマー、重合、ポリマー、化学改質

3大合繊とポリウレタンを対象としたモノマー、重合、ポリマー、化学改質について解説します。

..... 名古屋大学名誉教授、名古屋産業科学研究所 上席研究員 小長谷重次

13.40～15.00

(3) 繊維化プロセスと物性－構造と形態の制御－

紡糸工学の概要を説明し、特に複合紡糸を含む溶融紡糸の実際例を紡糸挙動、繊維構造、物性、形態制御などと関連づけて解説します。

..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士

15.10～16.20

(4) 合成繊維の高次加工－糸加工、製布

..... 元東レ、日本繊維技術士センター 執行役員 木村 俊彦

合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚、エア加工、撚糸および混織・複合を含む糸加工の目的、手法、効果、それを生かす製布の概要について説明します。

16.30～17.30

(5) スーパー繊維とその用途展開

..... 東洋紡(株) 総合研究所 コーポレート研究所 部長 寺本 喜彦

近年、スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に、その基本から最近の用途開発事例について解説します。

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員15,000円、協賛学協会員15,000円、非会員23,000円、学生会員3,000円、学生非会員5,000円（税別）

申 込 「テキスタイルカレッジ合成繊維（実用）」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込みができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

北陸支部 日本繊維機械学会・繊維学会 北陸支部研究発表会発表募集

北陸支部では2019年度の研究発表会を下記の要領で開催します。恒例の「北陸支部優秀発表賞」(若手発表者【2019年4月1日現在で35歳以下】で審査希望のあった発表の中から優れた研究発表を選出する)の表彰も行います。今年度も繊維学会北陸支部と共催することになりましたので、学会の枠を越えた多くの方々のご参加をお待ちしております。

期 日 2019年11月28日(木) 13.00～(予定)

会 場 金沢大学金沢駅前サテライト・オフィス 3階・多目的ルーム(石川県金沢市広岡1-2-20)

共 催 日本繊維機械学会北陸支部, 繊維学会北陸支部

発表申込 ①発表題目, ②著者(発表者氏名の前に○をつけて下さい。また、各著者のご所属の記載もお願いします。
例: ○石川一郎(石川工試), 角間花子(金沢大・理工)), ③連絡先を下記申込先までご連絡ください。

締 切 2019年9月20日(金)

申込・問合せ先 日本繊維機械学会 北陸支部 事務局 若子倫菜(金沢大学理工研究域 機械工学系内)
E-mail: linawakako@se.kanazawa-u.ac.jp

中国支部 2019年度中国支部研究及び事例発表会発表募集

中国支部では日本繊維製品消費科学会中・四国支部と共催で2019年度研究及び事例発表会を開催します。多数の方々のご発表をお待ちします。

期 日 2019年12月13日(金) 13.30～

会 場 岡山県立図書館 2F サークル活動室(岡山市丸の内2-6-30)

<http://www.libnet.pref.okayama.jp/>

要 領 ①発表題目, ②発表者名(共同研究の場合には発表者に○), ③連絡先(電話番号, FAX番号, 利用可能ならばE-mailアドレス)を記入の上, 10月4日(金)必着で下記宛お申し込み下さい。

申込・問合せ先 日本繊維機械学会中国支部事務担当, 倉敷市立短期大学服飾美術学科 道明伸幸
(〒711-0937 倉敷市児島稗田町160)
TEL.086-473-1859, FAX.086-473-1857, E-mail:michiaki@m.kurashiki-cu.ac.jp

2020 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」公募

2020 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおよそ 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を 2019 年 1 月 28 日(月) 必着で、下記の申込先宛送付下さい。

提出書類 次の書類を 2 部（正 1 部、副 1 部、副は複写も可）提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙（所定の書式の用紙、学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい）
- (2) 応募業績に関する参考資料（参考資料例：特許、図面、新聞記事、納入実績リスト、カタログ、技術資料など）

選考方法 (1) 一次選考（書類審査）により選抜された業績について、二次選考（現地調査）を行います。

- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

その他 応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

応募締切 2020 年 1 月 27 日(月) 17 時必着

申込先ならびに問い合わせ先 日本繊維機械学会 技術賞選考委員会
〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

参考資料 過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・ 2017 年度受賞技術

「柔らか面ファスナーの開発」

..... 帝人(株) 田中 昭
..... 帝人フロンティア(株) 竹下 皇二
..... 帝人(株) 田中 謙吾

「次世代コンパクト POY 巻取設備の開発」

..... TMT マシナリー(株) 杉山 研志, 北山 太, 橋本 欣三

・ 2018 年度受賞技術

「環境に優しい高耐久防汚加工技術」

..... 東レ(株) 竹下 将太, 柄澤 留美, 小森 晋也, 大塚亜津希, 竹田 恵司

「自動ワインダーにおけるサーボ制御を用いた高速トラバース機構」

..... 村田機械(株) 梅原 嘉人, 谷川 保伸, 牟田 勝文, 竝川 哲也

・ 2019 年度受賞技術

「低強度運動用ブラの開発」

..... (株)アシックス 瀧井 靖歩, 森 洋人, 角 奈那子

「暑熱環境下での作業リスク管理システムの開発」

..... 倉敷紡績(株) 藤尾 宜範, 原 泰明, 大月 昌也, 松雪 遼

..... 大阪大学 中江 悟司, 清野 健

..... 信州大学 金井 博幸

創立 70 周年記念 若手研究者・技術者育成事業 日本繊維機械学会「学術研究奨励賞」募集要項

1. 趣旨

本学術研究奨励賞は、日本繊維機械学会の創立 70 周年を記念して、繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究を行う若手研究者に対して授与し、繊維工学の発展に寄与する人材を育成することを目的としたものです。

2. 応募資格

2019 年 12 月 31 日において 45 歳以下の研究者・技術者

3. 研究テーマ

繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究

4. 応募の方法

所定の研究計画書ファイルを学会 HP からダウンロードして作成し、日本繊維機械学会事務局宛に提出してください。

5. 応募の締め切り

2020 年 2 月 3 日(月) 必着

6. 選考結果の発表

2020 年 5 月中旬までに、申請書を元に審査のうえ贈賞者を決定し、本人に書状にて通知します。

7. 表彰

2020 年度の年次大会 2 日目に、学会賞授与式を開催します。

賞状ならびに副賞（奨学寄付金：1 件につき最大 50 万円）を授与します。

8. 研究成果の報告

所定期間内（原則三年以内）に報告書を提出し、日本繊維機械学会（以下本学会）年次大会で成果を発表すること。さらに、研究終了後所定の期間内（原則一年以内）に成果をまとめ、本学会の学術論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) に投稿すること。

なお、会社に帰属する研究成果の公表の可否と範囲については、受賞決定後に選考委員会と協議する。

9. 留意事項

- 1) 受賞時には本学会の会員であること。
- 2) 応募に際して本学会員の推薦を必要とする。
- 3) 企業の研究者が応募する場合は、あらかじめ所属する部局長の承諾を得ること。

2020 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

2020 年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は、本学会の会員であり、Original Paper を多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは、JTE (Journal of Textile Engineering, 本学会論文集) に掲載された Original Paper が「5 編以上」とします。また、「新進の研究者」とは、年齢が当該年の前年の 12 月 31 日で、40 歳以下の者とします。応募される方は、下記の書類を添えて、2020 年 2 月 3 日(月) 必着にて、下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部(様式は自由)

- 提出書類**
- (1) 氏名ならびに生年月日
 - (2) JTE に掲載された論文一覧(著者名全員、発行年、題目、巻号、初頁—終頁)
 - (3) 推薦書(自薦、他薦にかかわらず 400 字以内)

申込先 日本繊維機械学会 学術賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL: 06-6443-4691, FAX: 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

新刊

糸とファッション

糸を紡ぎ、布を織る道具・機械の発展とファッションの変遷

著者：日下部 信幸(くさかべ のぶゆき)

978-4-86641-226-9 C3077 A5 判並製 304 頁 1,800 円 + 税 東京図書出版

【内容】

糸を紡ぐ道具や機械の歴史的な発展と各時代のファッションとの関わりについて纏められた書。身分ファッションの時代から現代の若者ファッションに至るまでの変遷、産業革命がファッションに大きな影響を与えたことなどが詳細に解説された大変貴重な作品です。

【著者】日下部 信幸(くさかべ のぶゆき)

1962 年岐阜大学工学部繊維工学科卒業、工学博士(東京工業大学)。愛知教育大学名誉教授、名古屋学芸大学特任教授、東京福祉大学教授、名古屋学芸大学客員教授を歴任。著書に『子どもと楽しむ・衣生活のもの作りと科学実験』(2005)、『イギリスのテキスタイル・コスチューム博物館のすべて』(2002)、『生活のための衣服簡易実験法』(1996)、『生活のための被服材料学』(1992)、『楽しくできる被服教材・教具の活用研究』(編著、1990)、『小・中学校でできる被服材料実験』(1985)(以上家政教育社)などがある。



お知らせ 日本繊維機械学会フェロー会 「せんい」を通じて社会貢献する Fellow Club of TMSJ

日本繊維機械学会では、2008年の創立60周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。日本繊維機械学会フェローとは、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著に貢献をした会員に与えられる称号です。2012年にフェローの集まりである日本繊維機械学会フェロー会が設立されました。社会貢献を目的として、日本繊維機械学会を側面からサポートしながら数々の活動を行っております。

日本繊維機械学会フェロー会の活動

1. 小中学生テキスタイルセミナー

これからの日本を背負っていく子供達に、繊維のすばらしさを伝える目的で行っています。繊維のすばらしさを伝える伝道師として、フェローが「Mr. ファイバーマン」に扮して、赤色のブルゾンを身につけ、子供たちに繊維知識をより身近に感じてもらういろいろな工夫をして開催しています。

過去の開催内容は学会HPのフェロー会ページ (<http://tmsj.or.jp/fellow/report.html>) で閲覧できます。

2. フェロー講演会（シリーズ「技術立国日本の先駆者」etc.）

技術立国日本の礎を作った先駆者として、フェローに成功と失敗談、光と影の部分を腹藏なく語っていただく講演会です。また、学会行事と連携して基礎講座も行います。

3. 技術相談

フェロー会ではフェローによる技術ならびに諸々の相談を受け付けています。相談事項がございましたら学会HPのフェロー会ページ (http://tmsj.or.jp/fellow/tech_advice.html) の「フェロー会メンバー相談可能分野一覧」を参照いただき、相談内容と相談したいフェロー名（任意）を学会事務局までお知らせください。相談内容は関係者以外には秘密保持致します。内容によっては相談に応じられない場合があります。なお、内容によっては費用が発生する場合があります。

4. 出前講義

小、中、高等学校から一般の方々、企業を対象に繊維に関する出前講義を行います。出前講義を希望されます団体は相談に応じますので学会事務局までご一報ください。

問合せ先 日本繊維機械学会フェロー会

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL 06-6443-4691, FAX 06-6443-4694

E-mail : info@tmsj.or.jp

お知らせ 日本繊維機械学会 Facebook ページの開設

SNS「フェイスブック」に、日本繊維機械学会のFacebookページを2018年7月に開設しました。最新情報や開催行事報告等をお伝えします。

すでにフェイスブックをお使いの方は、ぜひ「いいね！」をお願いします。

協賛行事 第28回日本睡眠環境学会学術大会

- 期 日** 2019年9月5日(木), 6日(金)
- 会 場** 東広島市民文化センター (東広島市西条西本町 28-6)
- 主 催** 日本睡眠環境学会
- テ-マ** 「生活課題としての睡眠」- 睡眠教育と睡眠環境の重要性 -
- その他** 詳細は日本睡眠環境学会 HP (<http://www.sse-japan.com/>) をご参照下さい。

協賛行事 第25回成形加工テキストセミナー

- 期 日** 2019年9月5日(木)
- 会 場** 東京工業大学大岡山キャンパス (東京都目黒区大岡山 2-12-1)
- 主 催** プラスチック成形加工学会
- 内 容** 詳細はプラスチック成形加工学会 HP (<https://www.jspp.or.jp/>) をご参照下さい。

協賛行事 第169回講演会「フィルム成形技術を理解する」

- 期 日** 2019年9月13日(金)
- 会 場** 東京都立産業技術研究センター本部イノベーションハブ (東京都江東区青海 2-4-10)
- 主 催** プラスチック成形加工学会
- 内 容** 詳細はプラスチック成形加工学会 HP (<https://www.jspp.or.jp/>) をご参照下さい。

お知らせ FMC9月度セミナー

FMC (ファッション素材センター) の9月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくはFMCのホームページ (http://www.geocities.jp/fmc_webpage/) をご参照下さい。

- 期 日** 2019年9月6日(金) 18.15~20.00
- 会 場** 大阪産業創造館 5F 研修室 AB (大阪市中央区本町 1-4-5)
- 内 容** アジアの繊維産業について その2 ミャンマー

チャイナプラスワン、アジア最後の秘境など最近、ミャンマーという国の名を耳にすることが急激に増えたように思います。そこでアジア、世界の中でその政治的影響を受けながら今に至るミャンマーの繊維産業をその内側と外側からの視点でお話ししたいと思います。(1) ミャンマーの概要、歴史、(2) 今に至る繊維産業の流れ・糸 素材 染色 製品 貿易、(3) ミャンマーの民族衣装について、(4) 繊維産業における日本との関係

- 講 師** NEXT PARTNER'S CO.,LTD. Managing Director 高橋祐定
- 参加費** ビジター会員 2,000 円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年 12 回のセミナー (10 月は見学会) に無料で参加できます。年会費 12,000 円でどなたでも会員になれます。]
- 申 込** 「FMC9 月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話または FAX 番号をご記入の上、8 月 30 日 (金) までに E-mail にてお申し込み下さい。
- 申込先** 武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科内 FMC 事務局
E-mail : fmc.office.mail@gmail.com

日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」

2018年1月より、日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」の原稿の種類を、以下の様に変更・新設しました。

旧	新
Original Paper	Original Paper
Note	Short Paper
Review	Review
新設	Technical Report

一般論文 (Original Paper) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

短報 (Short Paper) :

一般論文と同様に繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して未刊行の論文であり、萌芽的、断片的研究ではあるが信頼性が高く価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり4頁以内とする。

技術報告 (Technical Report) :

繊維または繊維機械に関連する技術に関する未刊行の報告で、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ており、繊維技術と繊維産業の発展に貢献する技術を公表することを重視したもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり6頁以内とする。

レビュー (Review) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学・技術に関する最近までの研究や開発動向、将来展望を、過去の論文や報告を数多く引用してまとめた未刊行のもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

ジャーナル編集委員会

委員長	保田 和則 (愛媛大学)	
副委員長	金井 博幸 (信州大学)	小柴 孝 (奈良工業高等専門学校)
	向井 康人 (名古屋大学)	
編集委員	上田 博之 (大阪信愛女学院短期大学)	植松 英之 (福井大学)
	金田 直人 (福井工業高等専門学校)	坂口 明男 (信州大学)
	廣垣 和正 (福井大学)	松岡 敏生 (三重県工業研究所)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	山下 義裕 (大阪成蹊短期大学)
	山本 貴則 (大阪産業技術研究所)	山本 剛宏 (大阪電気通信大学)
	與倉 弘子 (滋賀大学)	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)

(一社) 日本繊維機械学会 会費減免規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本繊維機械学会会費規程第2条第2項に基づき、一般社団法人日本繊維機械学会（以下「本会」という）の組織強化のために、正会員の会費年額の減免措置について定める。

(定義)

第2条 この規程における「従業員」の定義は、下記に定めるところによる。
「従業員」とは、正規、非正規関係なく企業・団体と直接雇用契約を結び、業務に従事する者をいう。

(年会費の減免)

第3条 本会の正会員の会費年額が8,000円であることは、会費規程第2条に明記されているが、以下のいずれかに該当する者については、本人からの申請により下記の減免措置を受けることができる。

- 1 ゴールド割引：本会の賛助会員または維持会員の従業員が本会の正会員となるとき、あるいは本会の正会員が賛助会員または維持会員の従業員である場合は、会費年額を2,000円とすることができる。但し、この減免措置を受けることのできる正会員数は、賛助会員1口につき10名、維持会員1口につき30名を上限とする。
- 2 シルバー割引：本会の正会員、あるいは賛助会員または維持会員の従業員で満65歳を越え且つ下記の在籍年数が5年以上ある場合には、会費年額を2,000円とすることができる。
 - ①本会の正会員としての在籍年数
 - ②賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数
 - ③上記①、②を合算した在籍年数
- 3 ブロンズ割引：本会に正会員として初めて入会したときは、1年間の会費年額を4,000円とすることができる。但し、年度の途中において入会した場合は、会員になった初年度の会費及び翌年度の会費について適用する。

(最低額の会費年額の適用)

第4条 本会の正会員が前条の2つ以上の事項に該当した場合は、その内最も低額の会費年額が適用される。

(減免の時期)

第5条 年度途中で第2条の減免理由が発生した場合においても、会費規程第3条の「前納」の原則は優先されるものとする。また、すでに納入された会費は返還しない。

(改廃)

第6条 この規程は、理事会の決議によって変更することができる。

(附則)

この規定は平成29年11月11日より施行する。

情報化委員会

委員長	武内 俊次（京都工芸繊維大学）		
委員	中西 康雅（三重大学）	保田 和則（愛媛大学）	山下 義裕（大阪成蹊短期大学）
	横山 敦士（京都工芸繊維大学）	若子 倫菜（金沢大学）	

【現状の会費規定】

会員種別	資格	会費
1. 名誉会員	個人	無料
2. 正会員	個人	8,000 円
3. 学生会員	在学中の学生	2,000 円
4. 賛助会員	団体、個人	95,000 円
5. 維持会員	団体、個人	280,000 円

【新しい会費減免規定（平成 30 年度年会費より適用）】

会員種別	資格	減免種別	年会費	減免資格内容
1. 名誉会員	個人	-	無料	-
2. 正会員	個人	-	8,000 円	-
		ゴールド割引	2,000 円	維持会員あるいは賛助会員の従業員が本会の正会員である場合
		シルバー割引	2,000 円	満 65 歳以上の正会員で下記の在籍年数が 5 年以上である場合 ① 本会の正会員としての在籍年数 ② 賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数 ③ 上記①、②を合算した在籍年数
		ブロンズ割引	4,000 円	本会に初めて正会員として入会した場合（年度途中で入会の場合は翌年にも適用）
3. 学生会員	在学中の学生	-	2,000 円	-
4. 賛助会員	団体、個人	-	95,000 円	-
5. 維持会員	団体、個人	-	280,000 円	-

【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

塾長	松田 正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）	
副塾長	近藤 健一（㈱おふいすけんいち代表取締役社長）	松尾 憲久（マツオインターナショナル㈱代表取締役社長）
	八代 芳明（東海染工㈱取締役会長）	山下 雅生（㈱エイガールズ取締役会長）
幹事	松下 義弘（京都工芸繊維大学 非常勤講師）	
運営委員	糸井 弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当）	宇治 光洋（ダイセン㈱（繊維ニュース）編集グループ記者）
	白谷喜世彦（大津毛織㈱代表取締役）	貝原 良治（カイハラ㈱代表取締役会長）
	北丸 豊（豊栄繊維㈱代表取締役社長）	桑名 紀夫（新パーソナルカラー®協会 理事）
	高杉 哲朗（㈱ショーワ代表取締役社長）	辰巳 雅美（辰巳織布㈱代表取締役社長）
	山本 敏明（西染工㈱代表取締役）	米倉 勝久（㈱タカラ代表取締役会長）
	渡邊 利雄（渡辺パイル織物㈱代表取締役社長）	

一般社団法人日本繊維機械学会 正会員 会費減免申請書

	申請日	年 月 日
(フリガナ) 会員氏名	生年月日	年 月 日
勤務先所在地	〒	
勤務先名称		
役職および 所属部課名		
電話		
E-mail		
自宅住所	〒	
連絡事項		
減免種別 (○印でかこむ)	ゴールド割引 ・ シルバー割引 ・ ブロンズ割引	
承認期日 (事務局記入)	年 月 日	印